

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,307,975	5,813,396	2,165,743	140,493	25,427,609	—	25,427,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	741,817	1,371	743,639	△743,639	—
計	17,307,975	5,813,846	2,907,561	141,865	26,171,248	△743,639	25,427,609
セグメント利益	1,106,888	35,338	28,790	91,688	1,262,705	△557,151	705,553

(注) 1 セグメント利益の調整額△557,151千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,100,693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,706,171	5,845,728	5,081,873	136,028	28,769,800	—	28,769,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	666,369	3,491	670,310	△670,310	—
計	17,706,171	5,846,178	5,748,243	139,519	29,440,111	△670,310	28,769,800
セグメント利益	1,264,459	160,092	99,124	98,903	1,622,580	△544,157	1,078,423

(注) 1 セグメント利益の調整額△544,157千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,142,736千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。